

湊川相野学園 ニュース

発行:2021年5月
湊川相野学園理事長室会

No.

78

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学教授 山田哲也氏に

「現代を生きる子どもが問題解決や実践力を身に付ける教育」 の研究についてお訊きしました。

現在、先生は小学校教育でも必須の能力となったプログラミング的思考を基盤として、児童生徒がその学習にどのような意味や意義を感じているか(学習レバンス)に着目し、STEM教育(Science,Technology,Engineering,Mathematics)や、芸術(Art)も取り入れたSTEAM教育を「分野横断的」な立場から、その教育方法と教育課程の研究開発をされています。小学校などで学んだ子どもが中学校・高等学校などにおいて、より実践的な社会に役立つ実践力を身に付けることを目的とした研究とも言えます。これに関して、先生のSTEM教育の学習レバンス構造に関する研究などが、2期連続で日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究として採択され研究進行中とのことです。

「プログラミング教育は情報を上手に活用しながら実践的な思考力や創造力を身に付けることが特徴ですが、論理思考を通して問題解決の方法を見つけ出すことです。ですから初等教育においてはコンピュータに触れることなく学習することもあります。そして中学・高校と徐々に高い思考力を身に付けることにより、多様な情報を活かしながら考える面白さを学ぶことです。」というわかりやすい説明をしていただきました。

子ども達が学習に対して、普段どのようなことを意識して、どのような行動をしているのか自らが把握し、学習の意義とともに考えることは大切です。それを基に社会を生きるのに必要な思考の能力を育成する研究に大きな期待が寄せられています。



湊川短期大学
教授 山田哲也氏

三田松聖高等学校 「プラスアルファのある5か年教育」いよいよ始動



子どもや子育てをめぐる社会環境や人々の生活が大きく変動している昨今、保育の専門家になるために身につけなければならない知識や技術は激増しています。実際にその職に就くには、本当にたくさんのことを学び身につけねばなりません。保育という創造性あふれる営みは「自ら学び考える保育者」によってはじめてなし得るのです。

そうした中、保育探究クラスは、湊川短期大学のサポートを受けて、現代の子育てニーズに対応できる保育者を養成するために、幅広い知識や技術を学習できるようなカリキュラムを整えました。これを私たちは「プラスアルファのある5か年教育」とよび特色としています。

系列の認定こども園や保育園を通じて、子どもと子どもを保育する環境に接することができる優位性を活かし、次世代の子どもたちが育つ保育の現場を体験することもできます。こんな恵まれた環境の中で、夢と志をもって、学び、究め、楽しみながら、社会に貢献できる人材を養成していきます。

附属西舞子幼稚園 「ウェルカム幼稚園デー!!」

入園式から1ヶ月、5月12日にウェルカム幼稚園デー(対面式)がありました。

ソーシャルディスタンスの為、2部に分かれての会となりましたが、子どもたちは始まる前からわくわくドキドキ。年長組さんがカラーポリ袋を使って作ってくれたトンネルを、「レッツ・ゴー!」と元気にくぐりスタートです!

みんなで一緒に体操をしたり、フープを使って遊んだり。楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。そして最後は、年長組さんがこの日の為に一生懸命作ってくれたメダルを首に掛けてもらいました。メダルには、うさぎやぞう、ねこにライオンなど色々な動物が!みんなの大喜びです!!

途中で雨が降ってきたのですが、メダルが濡れないように手やスモックで隠しながらお部屋に入っていました。

さあ、これからも元気いっぱい遊ぼうね!

